学校番号	３０８

令和２年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽Ⅱ」　（教育芸術社 出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では合唱曲だけでなく J-POP などさまざまな歌を通じて、総合的な歌う力をさらに伸ばします。
・器楽では１年次に身に付けた技術をさらに高めます。新しい楽器にも取り組み、さらに演奏の幅を拡げていきます。
・鑑賞や創作活動を通じて、感じる力、また自己を表現する力をさらに伸ばします。
音楽の授業の目標は音楽的な力を高めることですが、大切なことは他者とコミュニケーションを取りながら活動すること、感じる力を身につけることです。これらの社会に出てから必要な力も伸ばしながら、表現する力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

音楽の創造的な活動を通して音楽体験を豊かにし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、他者と協同して演奏する喜びを感じながら、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽の表現活動の喜びを味わいながら、主体的に音楽性、技術の向上を目標に活動に取り組もうとする態度を身に付けている。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特質、変化など感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力を身に付けている。	創造的な音楽の表現をするために必要な音色や奏法、音のつながり方や強弱などを知覚、表現する技能を身に付けている。	音楽作品などを鑑賞し、その良さや文化的価値を感じ取りながら音楽と生活との関わりに関心を持ち、創造的に味わう能力を身に付けている。
評価方法	活動の様子 ワークシート グループ活動の様子	活動の様子 ワークシート 実技テスト	活動の様子 実技テスト	鑑賞活動の様子 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	二声のハモり！	【歌唱】 ・二声のメロディラインを歌う ・相手の音程を意識して、区別して歌う	○		○		a:歌う喜びを味わいながら、主体的に取り組もうとしている。 c:相手の音程を知覚して、区別して歌うことができる。	活動の様子 実技テスト
	ギターアンサンブルⅡ	【器楽】 ・グループでギターの弾き歌いを行なう ・さまざまなリズムのストロークに親しみ、自分のイメージに合わせて演奏する ・弦を正確に押さえて、コードを弾く	○	○	○		a:ギターに関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 b:自分のイメージに合わせて強弱やストロークを工夫し、創造的に表現している。 c:さまざまなコードをにごりのない音で演奏することができる。	活動の様子 実技テスト
	オーケストラ鑑賞	【鑑賞】 ・オーケストラを鑑賞する ・オーケストラで使われる楽器について学ぶ ・楽曲を鑑賞し、グループに分かれて描かれている情景をイメージする ・解説を聴き、自分たちの意見と比較する	○			○	a:作品の良さや工夫を感じ取ろうと意欲的に鑑賞し、主体的に他者と共有しようとしている。 d:良さや文化的価値を感じとりながら創造的に味わっている。	鑑賞の様子 グループワークの様子 ワークシート
2学期	アカペラコーラス！	【歌唱】 ・アカペラのコーラスアンサンブルを行う ・自分のパート内で音程を正確に歌う ・グループに分かれ、他パートを意識しながら創造的に歌う	○	○	○		a:歌唱に関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 b:それぞれのパートの動きを知覚し、強弱や発音を工夫して表現している。 c:他パートを意識しながら、正確に自分のパートを歌うことができる。	活動の様子 実技テスト

	ドラム演奏	【器楽】 ・楽曲に合わせてドラムを演奏する ・基本的なリズムと簡単なフィルインに親しみ、自分のイメージに合わせて演奏する ・正確なテンポでリズムを演奏する	○	○	○		a:ドラムに関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 b:自分のイメージに合わせて工夫し、創造的に表現している。 c:正確なテンポでリズムを演奏することができる。	活動の様子 実技テスト
	パーカッションアンサンブル	【創作】 ・4人1組で身近なものを用いて、パーカッションアンサンブルを行なう ・全員で息を合わせてリズムよく表現する	○	○		○	a: 他者と協同し、話し合いながら意欲的に取り組もうとしている。 b:身近なもので出せるさまざまな音を知覚し、組み合わせて創造的に表現することができる。 d:他者の演奏を聴き、良さや工夫を感じることができる。	鑑賞の様子 グループワークの様子 ワークシート
3学期	自由課題	【歌唱】 【器楽】 【創作】 ・すきなものを選択し、いままで学んだことを活かしながら創造的に表現する	○	○	○	○	a: 他者と協同し、話し合いながら意欲的に取り組もうとしている。 b:イメージに合わせて創造的に表現することができる。 c:選択した課題に必要な基礎的技術を身に付けている。 d: 他者の演奏を聴き、良さや工夫を感じることができる。	活動の様子 実技テスト

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。